



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2025 11/ 1

Volume

62

稜輝祭（大学祭）が開催されました

P2 | トピックス
第25回稜輝祭開催

P3 | トピックス
同窓会北海道地区懇親会開催

P4 | 連携活動
モンクット王工科大学北バンコク校、
国立宜蘭大学との学術交流協定締結

第25回稜輝祭（大学祭）を開催しました

●ステージイベント



軽音楽部（バンド演奏）



AIUEO&ダンス部（ダンス披露）

●屋内イベント



理工工房（万華鏡作り）



研究室発表



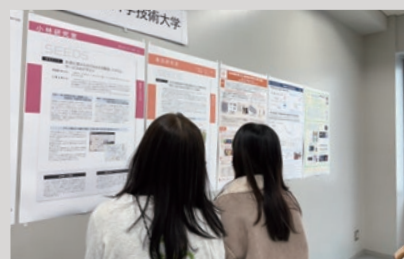
航空研究会（ペーパークラフト教室）



第2回 オープンサイエンスパーク千歳



イラストサークル（しおり作り、グッズ販売）



サイエンスカフェ（ポスター展示）

●屋外イベント



キッチンカー



自衛隊車両展示



ミニチュアホースふれあい体験

2025年10月26日（日）に稜輝祭（稜輝祭実行委員会主催）を開催しました。

今回は、『繋翔』というテーマが掲げられ、ステージでは、バンド演奏、アカペラ歌唱、ダンス披露、YOSAKOIソーラン演舞、ゲストライブ（「りんごちゃん」）が行われました。また、部活動・サークルによる模擬店や体験イベント、作品展示のほか、本学教員による研究室展示や自衛隊の車両展示、出張ミニチュアホースのふれあい体験なども行われ、盛況のうちに終了しました。

稜輝祭の開催にあたり、多くの皆様にご支援・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

同窓会北海道地区懇親会を開催しました

2025年10月25日(土)に札幌市内において同窓生の皆様と大学現・旧教員が一堂に会し、「同窓会北海道地区懇親会」を開催いたしました。久しぶりの再会に学生時代の思い出話や近況報告に花が咲き、会場は終始、和やかな雰囲気になりました。また、現役学生より翌日に控えた稜輝祭の紹介もあり、参加者の皆様から母校の発展を喜ぶ声が聞かれました。終盤には抽選会が実施され、当選者の発表のたびに大きな歓声が上がるなど、会は一層の盛り上がりを見せました。ご多忙中にもかかわらず多数の同窓生と大学現・旧教職員にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。



2025年度保護者懇談会を開催しました

2025年7月13日(日)に本学において2025年度保護者懇談会を開催しました。

全体説明会では、宮永学長からの挨拶に続き、吉本学部長から「本学の学部教育について」、木村学生支援・教育センター長から「学習・学生生活について」、小田 尚樹キャリアセンター長から「就職について」、大越研究科長から「本学の大学院教育について」の説明を行いました。

個別相談では、保護者の方が日頃不安や疑問に思われていることなどについて、担当教職員から説明いたしました。

参加した保護者の方からは、「詳しい資料で分かりやすかった」、「本人の日頃の様子が分かって良かった」などの感想が寄せられました。



最先端半導体技術センター (LSTC) の準組合員になりました

本学は、2025年7月1日付で技術研究組合である最先端半導体技術センター(Leading-edge Semiconductor Technology Center (LSTC))の準組合員になりました。

LSTCは、経済産業省の所管で、2022年12月21日に創設された技術センターであり、事業の概要は、国内の産業界とアカデミアの総力を結集するとともに、国際連携により高度デジタル社会の健全で持続的発展に貢献する研究開発を行うこととしています。同時に、教育界・研究組織・産業界の役割分担と連携を進め、国際連携も視野に入れつつ、必要とされる半導体人財の育成を行うこととなっています。

現在は、8つの企業等で構成される組合員と、16の国立・公立・私立大学などで構成される準組合員となっています。公立大学では、本学が初めて準組合員となりました。今後は、メンバーと共に次世代半導体の研究開発や人材育成を推進することになります。

このセンターは、千歳における次世代半導体の製造拠点であるラビダス社のように、国が主導で始めた大規模半導体プロジェクトを支援するために、創設されたものです。

本学では、すでにシリコンリサーチセンター(Chitose Silicon Research Center (CSR))を、2024年4月から立ち上げ、次世代の半導体産業を支える、高度DX(デジタルトランスフォーメーション)人材や高度GX(グリーントランスフォーメーション)人材の育成を進めています。今後はLSTCのメンバー機関とともに、次世代半導体に関する研究開発や人材育成のさらなる加速化を進めたいと思います。

モンクット王工科大学北バンコク校、国立宜蘭大学と学術交流協定を締結しました

本学は、国際的な学術交流の推進を目的として、2025年9月にタイのモンクット王工科大学北バンコク校、同年10月に台湾の国立宜蘭大学とそれぞれ学術交流協定(MOU)を締結しました。これにより、学生・教職員の交流や共同研究の促進、教育・研究活動の国際展開が一層進むことが期待されます。今後も本学は、海外大学との連携を通じてグローバルな学びと研究の機会を拡大してまいります。



モンクット王工科大学北バンコク校との学術交流協定セレモニー



国立宜蘭大学との学術交流協定セレモニー

韓国の亀尾電子工業高校が来学しました

2025年5月27日(火)に韓国の亀尾電子工業高校の教員・生徒の皆様が来学し、授業見学や研究室訪問を通して、本学の教育・研究活動への理解を深めていただきました。本学学生によるキャンパスツアーでは、学内施設を案内し、和やかな交流が行われました。

昼食時には学生同士の交流会も実施され、学校生活や将来の夢について語り合いました。言語や文化の壁を越えた貴重な国際交流の機会となりました。



第1回オープンサイエンスパーク千歳を開催しました

2025年8月5日(火)に本学において第1回オープンサイエンスパーク「ミクロな世界への冒険～昆虫採集と電子顕微鏡体験～」を開催いたしました。本イベントは、小中学生が自然や科学に親しむ機会を提供することを目的に、夏休み期間にあわせて毎年実施しているものです。7月初旬の告知後には多数の応募があり、定員を上回る15名の小中学生と保護者7名が参加しました。

当日はまず、北海道大学総合博物館の大原 昌宏博士による「昆虫採集講座」から始まり、参加した児童・生徒からは積極的な質問や意見が寄せられ、学びへの意欲の高さが伺えました。続く昆虫採集では、安全面への配慮から今年は千歳湖周辺を避け、大学構内で実施いたしました。前日に講師の先生方が設置されたトラップには多様な昆虫がかかっており、参加者は興味深そうに観察していました。

午後は採集した昆虫の観察を行い、蛍光顕微鏡・実体顕微鏡・電子顕微鏡を用いた実習を体験しました。普段は目にすることのできないミクロの構造を確認し、子どもたちは驚きと感動の表情を見せていました。最後に大原博士による標本作製指導が行われ、保護者の方々も熱心に耳を傾けていました。

参加者からは「大変勉強になった」、「来年も参加したい」、「将来は昆虫の研究をしてみたい」といった感想が寄せられ、自然科学への関心を高める有意義な機会となりました。



研究支援

CIF25を開催しました

2025年9月4日(木)及び9月5日(金)に本学H101講義室にて「第25回千歳科学国際フォーラム(25th Chitose International Forum on Science and Technology<CIF25>)」を開催しました。今回は、New Trend of DX/GX Opened Up by Advanced Semiconductorsをテーマに、国内外から招いた専門家による基調講演・招待講演と、一般参加による口頭発表・ポスター発表を行いました。

下記の講演者による9件の招待講演のほか、本学・他大学や高等専門学校などから応募のあった口頭発表9件、ポスター発表58件が行われました。また、併設した展示ブースには20社が展示を行い、最新技術情報の発信を行いました。さらに、本学学生にとっては、ポスター発表やCIF25の運営サポートを通じて、国内外から招いた専門家との交流の機会となりました。

基調講演では、折井 靖光Rapidus株式会社専務執行役員、岡田 顕NTT先端技術総合研究所長をお迎えし、それぞれ「Beyond Moore's Law : Semiconductor Packaging in the Chiplet Revolution」、「Pioneering the Future : The IOWN Initiative and its Enabler Photonics-Centered Technologies」と題したご講演をいただきました。

招待講演者

Prof. Ji Ung Lee(University at Albany-SUNY)
Dr. Shintaro Yamamichi(IBM Semiconductors,IBM Research)
Prof. Seiya Kasai(Hokkaido University)
Prof. Yun C. Chung(Korea Advanced Institute of Science and Technology(KAIST))
Prof. San-Liang Lee(National Taiwan University of Science and Technology)
Prof. Mianxiong Dong(Muroran Institute of Technology)
Mr. Kenya Endo(The University of Tokyo)
Prof. Hsuan-Jung Su(National Taiwan University)
Dr. Takashi Kan(KDDI Research,Inc)



折井 靖光
Rapidus株式会社専務執行
役員



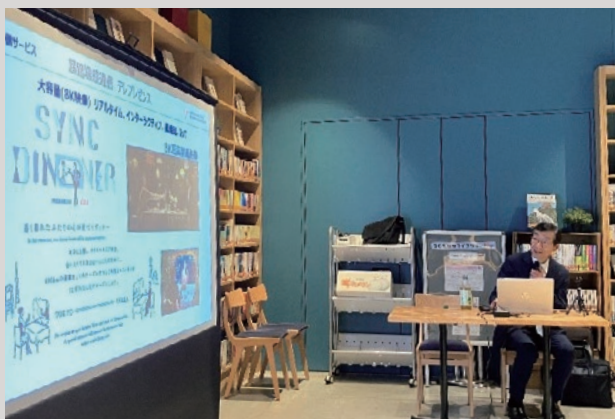
岡田 顕
NTT先端技術総合研究所長
役員

第1回公開講座を開催しました

2025年6月26日(木)にまちライブラリー@ちとせにて、本学の鈴木正敏副学長・教授・博士(工学)を講師にお迎えし、「通信技術の進化と未来への挑戦～2025 John Tyndall Award受賞記念講演～」を開催しました。

講座では、私たちの生活に欠かせないICT(情報通信技術)がどのように発展してきたのか、そして光通信技術が果たしてきた役割について、身近な例を交えながら分かりやすくお話いただきました。

また、近年の通信技術の進歩がもたらす社会的な影響や、今後の可能性についても多角的な視点から紹介され、参加者は興味深く耳を傾けていました。当日は、対面で10名、オンラインで7名の計17名が参加し、講演後の質疑応答も活発に行われました。アンケートでは、「専門的な内容をやさしく説明してもらえた」、「通信技術の重要性を改めて感じた」といった感想が多く寄せられ、科学技術への理解を深める貴重な時間となりました。



第2回公開講座を開催しました

2025年10月30日(木)にまちライブラリー@ちとせにて、本学の情報システム工学科の仲林清教授・博士(人間科学)を講師にお迎えし、「学びとは何かを考える～『学習の理論』と『学び方を学ぶ授業実践』～」と題した公開講座を開催しました。

講座では、学習心理学における「人は知識を外から与えられる存在ではなく、自ら獲得し、洗練していくことができる」という理論のもとに、これからの社会に求められる主体的な学びについて解説いただきました。従来のように知識を受け取るだけの学習ではなく、自ら考え、知識を変容させていくことが「学ぶ」という行為の本質であることが、具体例を交えてわかりやすく説明されました。

また、仲林先生が大学で実践されている授業の紹介もあり、学生が自身の学びのプロセスを振り返り、自律的に学ぶ姿勢を育てる取り組みが紹介されました。参加者からは、「学びの捉え方が変わった」、「社会人としての学びにも応用できる内容だった」といった感想が寄せられ、講座を通じて「学ぶ」という行為について考える貴重な機会となりました。

参加者は熱心に耳を傾け、講座後の質疑応答も活発に行われました。学習理論と授業実践を結びつけた今回の内容は、教育関係者だけでなく一般の参加者にとっても有意義なものとなりました。



入試情報

2025年度オープンキャンパスへのご参加ありがとうございました



2025年度のオープンキャンパスは、6月・8月・10月と計3回開催しました。また、いつでも視聴可能なオンデマンド配信も実施し、延べ1,527名の高校生や保護者の方々にご参加いただきました。多くの参加者と学生スタッフの協力により、オープンキャンパスが大いに盛り上がりました。ご協力いただきました皆さんに感謝を申し上げます。

来場者アンケートでは「案内などをされている学生さんがとても明るく親切に声をかけていただけるのがとても好印象でした」、「学校の雰囲気も良く、興味深い話もたくさん聞くことができました」などの感想が寄せられました。

次年度のオープンキャンパスにつきましては、決定次第ホームページ等でご案内いたします。

令和8（2026）年度一般選抜入試日程

試験種別	出願期間 (消印有効)	第1段階選抜 結果の発表	試験日	合格発表日	入学手続期間
前期日程	2026年 1月26日(月)9時 ～2月4日(水)17時	—	2026年 2月25日(水)	2026年 3月6日(金)	2026年 3月7日(土)～3月15日(日)
公立大学 中期日程	※出願期間最終日の 消印有効	2026年 2月13日(金) 〈注1〉	2026年 3月8日(日)	2026年 3月20日(金)	2026年 3月21日(土)～3月27日(金)

注1 公立大学中期日程の志願者数が募集人員の12倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。2段階選抜実施の有無は2026年2月13日(金)に発表します。

インターネット出願

一般選抜の出願はすべて「インターネット出願」で受け付けます。「インターネット出願」では願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、ATMでお支払いいただくことが可能です。

(インターネット出願サイトから入力しただけでは、正式な出願とはなりません。入学検定料の支払いおよび出願書類が本学で受理されて初めて正式な出願となります。)

株式会社カミノ様よりご寄附をいただきました

株式会社カミノ様(代表取締役社長 神野幹士様)より、実験棟売店への冷房設備設置に関するご寄附を賜りました。

同社は、千歳市の地元企業として、主に千歳周辺地域を中心に事務用機器等の販売を行うとともに、本学の売店を運営しております。

株式会社カミノ様から

近年、夏季には災害級の暑さとなる日が増加しており、現在、実験棟売店には冷房設備がないため、取り扱うことのできる商品が限定されている状況です。売店にエアコンを設置し、適切に室温管理を行うことで、学生の皆様のニーズにお応えしつつ、安全に商品を提供できるようにしたいと考えております。また、高温時には、学生の皆様に学内の避暑スペースとしてもご利用いただけるようにしたいと思います。

心より感謝申し上げますとともに、株式会社カミノ様のご厚意に深く御礼申し上げます。



左から、国府田営業部次長、神野代表取締役社長(以上、株式会社カミノ様)、宮永理事長・学長、千田副理事長(以上、本学)

株式会社サングリン太陽園様よりご寄贈をいただきました



2025年10月29日(水)に株式会社サングリン太陽園様(代表取締役社長 北濱宏一様)から自社で栽培されたお米約100kgとタマネギが寄贈されました。

ご寄贈いただいたお米とタマネギは、本学学生食堂を運営する「北のマルシェ」(代表 吉村奈月様)に提供し、学生の毎日の食事に役立てられました。

株式会社サングリン太陽園様のご厚意に心より感謝申し上げます。

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄附いただきました皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます(敬称略)。

公表を希望されない寄附者様につきましては、「匿名希望〇名」という形で掲載させていただきます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に対し、多くの皆様からの深いご理解とご厚情を賜りますようお願いいたします。

寄付者ご芳名

(2025年5月1日から2025年10月31日まで)

細径久美子	向井拡充	小松大亮	長路忠浩
堀野良和	小林哲郎	堀野一生	行木美里

他 匿名希望の方12名

敬称略

ご寄附に関する詳細につきましては、
本学ホームページをご覧ください。

